日章地区市政懇談会

防音区域の見直しを
○○○○ 強く要望

ジェット機の騒音問題などを抱える日章地区で一月十九日夜、地区公民館に地元住民三十五人が集まり市政懇談会が開かれました。市側からは、吉本、浜田両助役らが出席し、市政について意見交換を行いました。

まず、島内三正公民館長が「皆さんの協力で、公民館活動も活発に行われています。今日は、行政とのパイプを深めるための懇談会であり、積極的な討議をお願いします」とあいさつし、各地区から出された問題について話し合いました。

地元としては、ジェット化による騒音が一番の問題だ

話し合いの内容は…

○ジェット化後の騒音問題は深刻だ。防音区域線引きの見直し、拡大の見通しは。

●防音区域の拡大への陳情や請願は、市議会でも採択されている。線引きの見直しとなると、科学的データに基づかなければならない。昨年一年間にわたり県が騒音測定をしており、その結果は三月までに出るということなので、それを見直しの資料にすると思う。専門家で構成する委員会も県に出来ており、そのデータを基に検討してもらう予定だ。

○低騒音ジェット機導入への働きかけをもっとすべきでは。

●二月十九日に、市議会の空港対策特別委員会が運輸省、各航空会社へ陳情に行くことになっており、積極的に低騒音機の導入を働きかける。しかし数に限りもあり、こちらの注文通りにはいかない面もあると思うが、今後、騒音の高い大型機が導入されるとは考えられない。また、大阪へのジェット化はすぐには実現できないだろう。

○久枝地区としては、海側への離発着を行う優先滑走路方式に不安があるが。

●防音区域の指定は、優先滑走路方式では計算されていない。大篠地区では厳しい意見もあるが、安全性の問題もあり、簡単にこの方式をとることはできないと思う。

○鹿児島、広島など新しい航路ができれば、ますますやかましくなる。市としてどのような対応をとるのか。滑走路近くの畑で働く者としては、うるさくてたまらない。

●三月就航する鹿児島便は、YS機が飛ぶことになる。新規路線に対する県民の要望、期待と地元の騒音被害には、それぞれ意識の差もあるようだ。

○市道の整備、河川改修を早急に。

●市道整備については五十九年度は厳しい財政下、予算が減額されており、市単独事業は二億五千万円から五千万円となっている実情だ。六十年度については努力したい。

河川改修は、空港整備事業にかからなかったバイパス以北が遅れている。今後は、地元に一部負担をしていただかないと対応できない面もあり、皆さんの協力をお願いしたい。

○市職員の職務について、市民からの批判の声も聞くが。

●議会、婦人会などからも注意がある。市長自らが八時半に庁内を回ることもしているが、職員の自覚も必要だ。

○昼休みの窓口業務の見通しは。

●現在も窓口で対応している面もあるが、労働組合との話し合いを持ち対応していきたい。また、行政の効率化のためにも、遅れている電算機導入に取りかかり、人員を抑制して、財政再建の一助にしていきたい。

○防犯灯の設置はどのように。

●窓口は管理課管財係まで。市が半額を補助し、限度額は一万円で、維持費は地元負担となっている。

○公民館の整備計画は。

●各地区とも要望は高いが、六十年度は久礼田公民館を計画している。義務教育施設を優先ということで、社会教育施設が後になっている面もある。

○香南中の浄化処理で、処理水を川へ流しているのでは。

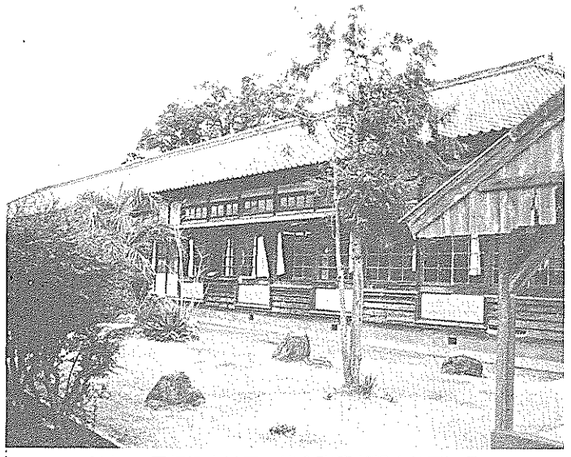
●蒸散装置で処理しており、川へ流すようなことはしていない。

二時間にわたる討議で、やはり騒音問題に話が集中。地元としては、防音区域の見直しに強い要望が出ており、二月の市議会の陳情にも期待を寄せているようでした。

後免野田小改築——
創立100周年(62年)をめどに

後免地区市政懇談会

市の中心地、後免町の地区公民館（窪川成生館長）で一月二十八日夜、市政懇談会が行われました。市からは浜田助役、関係課長らが出席。地元からは二十四人が参加し、後免野田小の改築など地元の抱える問題について、熱心に話し合いました。



創立100周年に向けて、校舎改築が望まれている後免野田小

話し合いの内容は…

○後免野田小の改築について、六十二年の開校百周年には新校舎にということで、地元でも積極的な体制で取り組んでいる。また、学校に消防車が入れない道路状況だ。それも含めて説明をお願いしたい。

●管理上、危険なのでまず、六十年度に進入路を整備したい。その後、六十二年の創立百周年に向けての改築に努力したい。

進入路用地は、既に買収している。地元の関係者のご協力をお願いしたい。道路改修の予算については、今のところはっきりしてないが、二月十日ごろまでにはめどをつけたい。

○ジェット機の騒音について、後免町の上空は、それほどやかましくないとのことだったが、今は非常にやかましい。騒音調査をしたようだが報告をお願いしたい。

●最初、民家防音工事をするための図面では、後免町、稲吉の上空は通らないだろうという見方だったが、右旋回を早くしているようだ。現在、空港全体としては未完成の状態で、安全性を第一に考えなければならないこともあり、飛行コースにばらつきがあると思う。

三月二十五日ごろに県の騒音調査結果が出ると聞いている。これを基に騒音区域の見直しや飛行コース、低騒音機導入などを科学的に分析して、専門の委員会で検討していくことになっている。

また、議会の空港特別委員会が二月十九日に大阪航空局、運輸省などへ陳情するので、それにも期待したい。

○ごみを出すときに分類が不十分な人が見受けられる。住民のモラルの問題だが、市の指導もお願いしたい。

●収集日以外に出すとか、分別が不十分、指定のごみ袋を使用しないなどの問題がある。市民の皆さんの協力で、出すときのルールを守っていただきたい。特に不燃物の収集日に町内会などから必ず二人づつ出ていただき、指導することもお願いしたい。

また、舟入川へのごみ投棄の問題で高知市大津地区の住民から強い抗議を受けた。ちかちか開かれる衛生委員会で相談し、皆さんの協力を得て三月に川ざらえをしたいと計画している。

○市職員で出勤時間にルーズな人が見受けられるが…。また、職員組合の現況なども報告願いたい。

●職員の勤務状態については、諸団体からの注意を受けている。市長自ら朝八時半に庁内をくまなく回っている。最近は良くなってきたようだが、厳正に守らなければならない問題だ。

職員組合は二つあり、一本化を願っているが、なかなか難しい面がある。

○市では、総合計画を立てているようだが説明を…。

●専任の参事を置いて、市の理想像を描いた基本構想、それの二十年程度の基本計画、三年～五年の短期実施計画に分けて考えているが、財政問題などで障害がある。将来の構想を生かす財源対策も必要だ。